



Title	越境文化研究イニシアティヴ論集 第4集 編集後記/ 奥付
Author(s)	
Citation	越境文化研究イニシアティヴ論集. 2021, 4
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/85142
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

【編集後記】

越境文化研究イニシアティブの論集第4集をお届けいたします。プロジェクト型の研究組織としての越境文化研究イニシアティブの活動は、2年目の今年度（2020年度）が最終年度となります。その前身であるグローバル日本研究クラスター（2014～2018年度）の発行した報告書からの通巻で、本集は第4集となっています。困難な状況のなかご寄稿くださったみなさんにお礼申し上げます。

活動記録にも記した通り、今年度は、最終年度であるにもかかわらず、COVID-19 パンデミックの影響を受けて、十分な研究活動を行うことができませんでした。この点、非常に残念に感じています。とはいえ、今年度も、文学研究科が幹事部局をつとめるかたちで全学に提供している大学院等高度副プログラム「グローバル・ジャパン・スタディーズ (GJS プログラム)」を基盤とする Graduate Conference in Japanese Studies 2020 を、「国際日本研究」コンソーシアムの協力を得て、ハイブリッド形式で開催することができました。その成果は、本論集の後半部分に反映されています。同 Conference の開催にご協力くださった方々に、この場を借りてあらためてお礼申し上げます。

ところで、2020年度の大阪大学では、Japanese Studies の教育・研究の学際的・国際的・社学連携的展開を促すことを目的とする全学組織「グローバル日本学教育研究拠点（Global Japanese Studies Education and Research Incubator, GJS-ERI, <https://www.gjs.osaka-u.ac.jp/>）」が設置されるという、非常に大きな出来事がありました。本研究グループの活動は、同拠点の活動の一部として継承されることになりそうです。

2021年度以降も GJS プログラムを基盤とする論集を発行していきたいと考えていますが、あわせてグローバル日本学教育研究拠点の活動にもご注目いただけましたら幸いです。（宇野田 尚哉）

大阪大学大学院
文学研究科 越境文化研究イニシアティブ論集 第4集

2021年3月31日 発行

編集 大阪大学大学院文学研究科越境文化研究イニシアティブ（代表 宇野田尚哉）

発行 大阪大学大学院文学研究科

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町 1-5

印刷 キンコーズ・ジャパン株式会社

ISBN 978-4-908326-08-0
